

令和元年度病院事業会計の決算見込み

令和元年度の病院事業会計の決算見込みについて、収益合計は、**454億6千万円**、費用合計は、**485億4千万円**で、当期の純損失は、前年度を11億9千万円上回り、**30億8千万円**となり、6年連続の赤字決算となりました。

極めて厳しい状況にはありますが、今後も県民の皆さまに安心していただける、よりよい医療を継続して提供出来るよう、各病院の特徴を活かした着実な経営改善策を講じ、収支の改善に努めてまいります。

【決算見込みの概要】

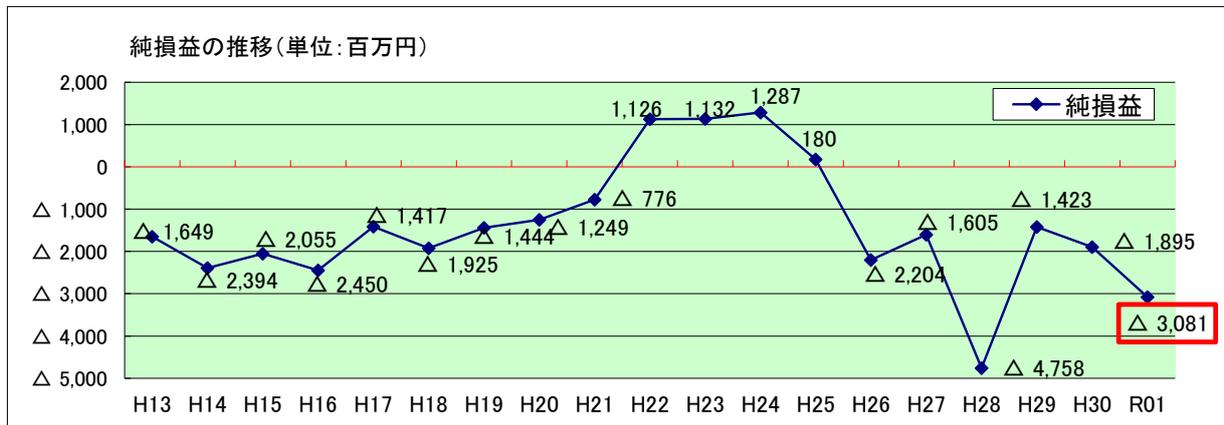
令和元年度の収入は、医業収益が、がんセンターの入院及び外来、こども病院の外来収益が伸びたことから、8億6,276万円の増加となりました。一方、医業外収益においては、負担金交付金が、3,822万円の増加となりましたが、長期前受金戻入益の減などにより3,704万円減少したことなどから、**収益合計**では、前年度に比べ8億3,495万円増加の**454億6,121万円**となりました。

支出は、医業費用が給与費、材料費及び経費の増加などにより17億5,483万円増加した一方、医業外費用が、主に消費税率変更に伴う控除対象外消費税雑損失が増となったことなどにより、2億6,523万円増加し、**費用合計**では、前年度に比べ20億2,167万円増加の**485億4,253万円**となりました。

この結果、**経常収支**が前年度に比べ11億9,434万円減の**△34億4,436万円**となり、**特別損益**は前年度に比べ762万円増の**3億6,305万円**となったことから、当期の**純損失**は、前年度に比べ11億8,672万円増の**30億8,132万円**となりました。

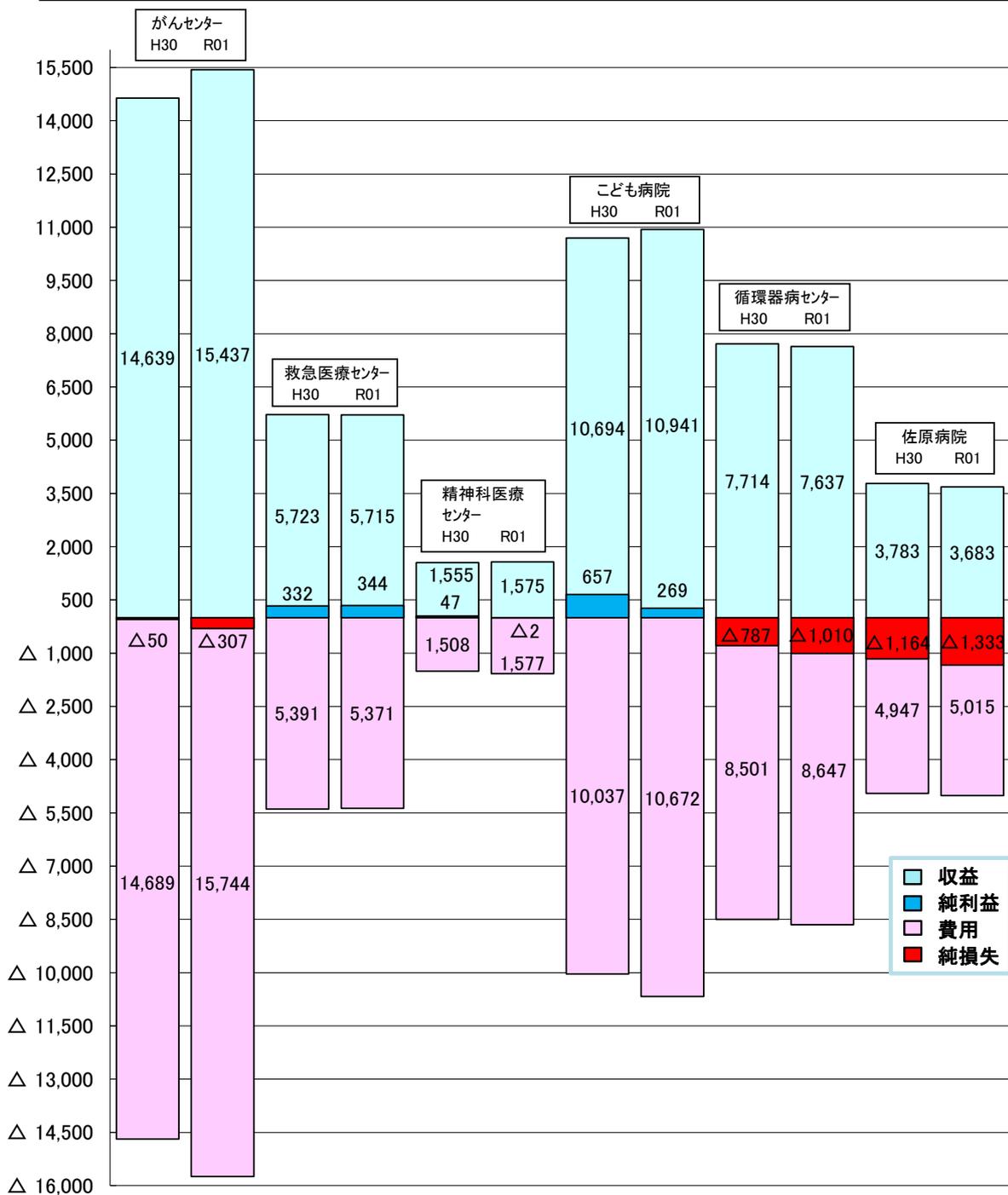
(単位：千円)

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減 額	増減率 (%)
医 業 収 益 A	31,618,416	30,755,655	862,761	2.8
医 業 外 収 益 B	13,477,010	13,514,052	△ 37,042	△ 0.3
特 別 利 益 C	365,784	356,552	9,232	2.6
収 益 計 ①(A+B+C)	45,461,210	44,626,259	834,951	1.9
医 業 費 用 D	46,178,633	44,423,802	1,754,831	4.0
医 業 外 費 用 E	2,361,156	2,095,928	265,228	12.7
特 別 損 失 F	2,738	1,124	1,614	143.6
費 用 計 ②(D+E+F)	48,542,527	46,520,854	2,021,673	4.3
経常収支 (A+B)-(D+E)	△ 3,444,363	△ 2,250,023	△ 1,194,340	
純利益(損失) ①-②	△ 3,081,317	△ 1,894,595	△ 1,186,722	



病院別損益の前年度比較（単位：百万円）

	がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	佐原病院
経常利益	△306	+344	△2	+269	△1,352	△1,354
純利益	△307	+344	△2	+269	△1,010	△1,333



○がんセンターは、延べ入院患者数（△1,169人(94,163人→92,994人)）減となったが患者単価増。延べ外来患者数（+1,335人(133,595人→134,930人)）が増加し、手術数（+286例(4,373例→4,659例)）も増加等で収益増。

○精神科医療センターは、延べ外来患者（△951人（28,805人→27,854人））減で収益減。

○こども病院は、延べ入院患者数（△1,843人(53,536人→51,693人)）減で入院収益減。延べ外来患者数（△2,617人(87,953人→85,336人)）減となったが患者単価増のため外来収益増。

○循環器病センターは、延べ入院患者数（△1,335人(48,626人→47,291人)）減及び延べ外来患者数（△2,668人(82,392人→79,724人)）減で収益減。

○佐原病院は、延べ入院患者数（△2,495人(45,776人→43,281人)）減及び延べ外来患者数（△4,397人(89,839人→85,442人)）減で収益減。